

動物実験計画書

提出日：平成 年 月 日

受取日：平成 年 月 日

A	実験責任者	(講座・職)	(氏名)	印
		(連絡先) TEL : E-mail :	FAX :	
		(講座の長・氏名)	印	
	実験従事者 (全員を記入すること。)	(講座・氏名)		
		(連絡先) TEL : E-mail :	FAX :	

B	研究課題	1 新規 2 継続 (平成 年度 承認番号:)
	1 部分開示 2 全面開示	
	研究目的 (期待される成果)	
	1 部分開示 2 全面開示	
研究計画と方法	1 材料の採取 2 薬剤等の投与 3 外科的処置 4 系統維持・繁殖 5 行動観察 6 その他()	
	1 部分開示 2 全面開示	
	1 実験全体で使用する動物の必要数 () 2 算出根拠 ()	
	研究内容を全面開示とした理由	

C

実験実施期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 （ か月間）					
動物飼育場所	建物名（ ） 飼育室（ ）					
実験実施場所	建物名（ ） 実験室（ ） 特殊実験室（ ）					
使用動物	（動物種）		（品種・系統）		（性別）	（匹数）
使用動物	遺伝学的保証 1 有 2 無					
	微生物学的保証 1 有 2 無					
動物実験等が必要な理由	1 代替手段がない 2 代替手段の精度が不十分 3 代替手段の経費が過大 4 その他（ ）					
安全管理上注意を要する点	1 無 2 有 (1) 病原微生物（ ） (2) 有害物質（ ） (3) 組換えDNA（ ） (4) その他（ ）					
想定される苦痛のカテゴリー	A B C D E (Scientist Center for Animal Welfare の動物実験の苦痛分類に準拠した判断に基づき記入すること。)					
動物の苦痛の種類と軽減法	1 軽微な苦痛の範囲内のため、特に処置を講じる必要はない。 2 麻酔薬、鎮痛剤等の薬剤を投与する。 薬剤名（ ） 投与量（ ） 投与方法（ ） 3 実験の都合上やむをえず24時間以上の保定・拘束をする。 4 重度のストレス及び疼痛を伴うが、苦痛の軽減方法がない。 5 耐えがたい苦痛を伴う場合は、適当な時期に人道的エンドポイントを考慮する。 （ ） 6 その他（ ）					
安楽死の方法	1 麻酔薬の投与及び吸入 薬剤名（ ） 2 炭酸ガス 3 その他（ ）					

D

動物実験委員会 記入欄	意見
	審査結果 適切 不適切 審査日：平成 年 月 日
部局の長の承認欄	本実験計画を承認します。 承認日：平成 年 月 日（有効期限：平成 年 月 日）
	承認番号：第 号 名古屋大学 長

(注) 1 新規に実験を開始する場合又は継続して実験を行う場合には、年度ごとに提出すること。
2 該当する欄又は番号に○印を付すこと。